

# 防災無線の聞こえ方 に関するアンケート

## 調査結果報告書

2013年11月

コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会

# 目 次

I	調査の概要	1
II	回答者のプロフィール	3
III	調査結果の分析	4
	1. 訓練や震災の際にいた場所	4
	(1) 地域	4
	(2) 場所	5
	2. 放送聴取の可否	6
	3. 情報入手先	7
	4. 防災訓練時の聞こえ方評価（音の大きさ、聞こえやすさ、手段）	8
	5. 日頃の防災行政無線への意識	9
	6. 防災行政無線が聞こえなかったケースの詳細	10
	7. 自由意見	12
IV	資 料	15
	1. 使用した調査票（見本）	15

## 1. 調査の目的

防災行政無線の屋外拡声器の聞こえ方について調査し、今後の街なか復興において、地域の安全・安心を重視したまちづくりを進めていくための基礎資料とするために、アンケートを実施した。

## 2. 調査項目

### (1) 回答者の属性

### (2) 石巻市総合防災訓練時の防災行政無線の状況

- ① 市内中心部にいたかどうか
- ② 防災訓練時にいた場所
- ③ 屋外拡声器の放送が聞こえたか
- ④ 防災行政無線の聞こえ方（音の大きさ/聞き取りやすさ/複数の屋外拡声器の重複）
- ⑤ 普段の防災行政無線への意識
- ⑥ 緊急時に防災情報を得る手段

### (3) 東日本大震災発災時の防災行政無線の状況

- ① 市内中心部にいたかどうか
- ② 震災発災時にいた場所
- ③ 屋外拡声器の放送が聞こえたか
- ④ 緊急の防災情報を得るために利用した手段

### (4) 2012年12月7日の余震時の防災行政無線の状況

- ① 市内中心部にいたかどうか
- ② 余震時にいた場所
- ③ 屋外拡声器の放送が聞こえたか
- ④ 緊急の防災情報を得るために利用した手段

### 3. 調査方法

地域組織（自治会もしくは商店会・振興組合）を通じて各世帯あたり 1 票の調査票を配布した。記入済みの調査票は、郵送法で回収した。

配布日：平成 25 年 10 月 3 日（木）

回収期限日：平成 25 年 10 月 23 日（水）

### 4. 回収結果

回収結果は以下の通り。

配布数	回収数	有効回収数	回収率
97	68	68	70.1%

### 5. 調査企画・実施主体

コンパクトシティいしのみき・街なか創生協議会  
東北大学災害科学国際研究所 助教 佐藤 翔輔

### 6. 集計・分析

株式会社サーベイリサーチセンター

### 7. 報告書の見方

- (1) N (number of cases) は比率算出の基数であり、100%が何人の回答に相当するかを示す。
- (2) 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第 2 位を四捨五入して算出している。したがって、単一選択式の質問においては、回答比率を合計しても 100.0%にならない場合がある。また、回答者が 2 つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると 100%を超える。
- (3) 図表及び本文で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。

## Ⅱ

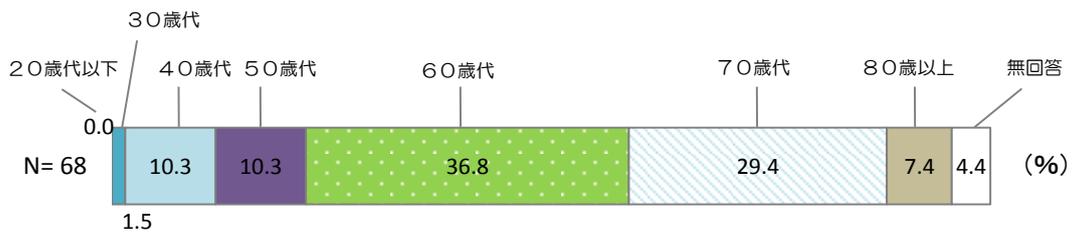
## 回答者のプロフィール

本調査における、回答者の属性は以下のとおりである。

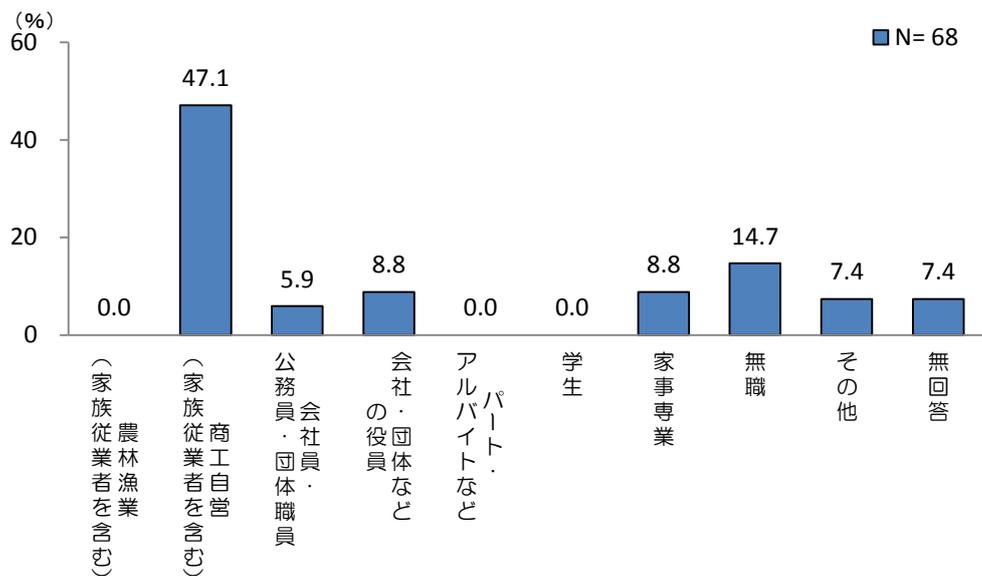
### 1. 性別



### 2. 年齢層



### 3. 職業



### Ⅲ

## 調査結果の分析

### 1. 訓練や震災の際にいた場所

#### (1) 地域

各調査時点で調査範囲（中心市街地）にいた人は 8 割前後

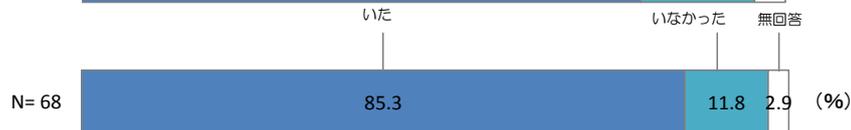
問 7 東日本大震災発生ときに、  
問 11 余震発生ときに、  
問 1 総合防災訓練における、

あなたは次のページに示す地図の範囲の地域にいましたか。(○は1つ)

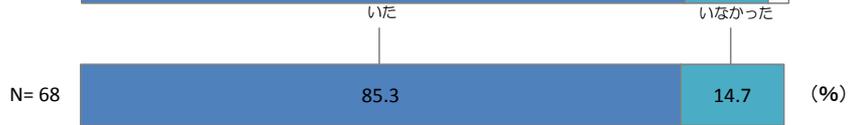
2011年3月11日  
14時46分発生  
東日本大震災



2012年12月7日  
17時18分発生  
余震（津波警報）



2013年10月6日  
7時7分発生想定  
総合防災訓練



本調査では、①2011年3月11日の東日本大震災発生当時、②2012年12月7日の余震発生当時、③2013年10月6日の総合防災訓練実施時の3時点において、それぞれ防災行政無線の聞こえ方について調査した。防災行政無線が稼働している時に、質問紙に示した地図（中心市街地）の範囲内にいた比率は、①79.4%、②85.3%、③85.3%となっている。

【調査票で使用した地図】

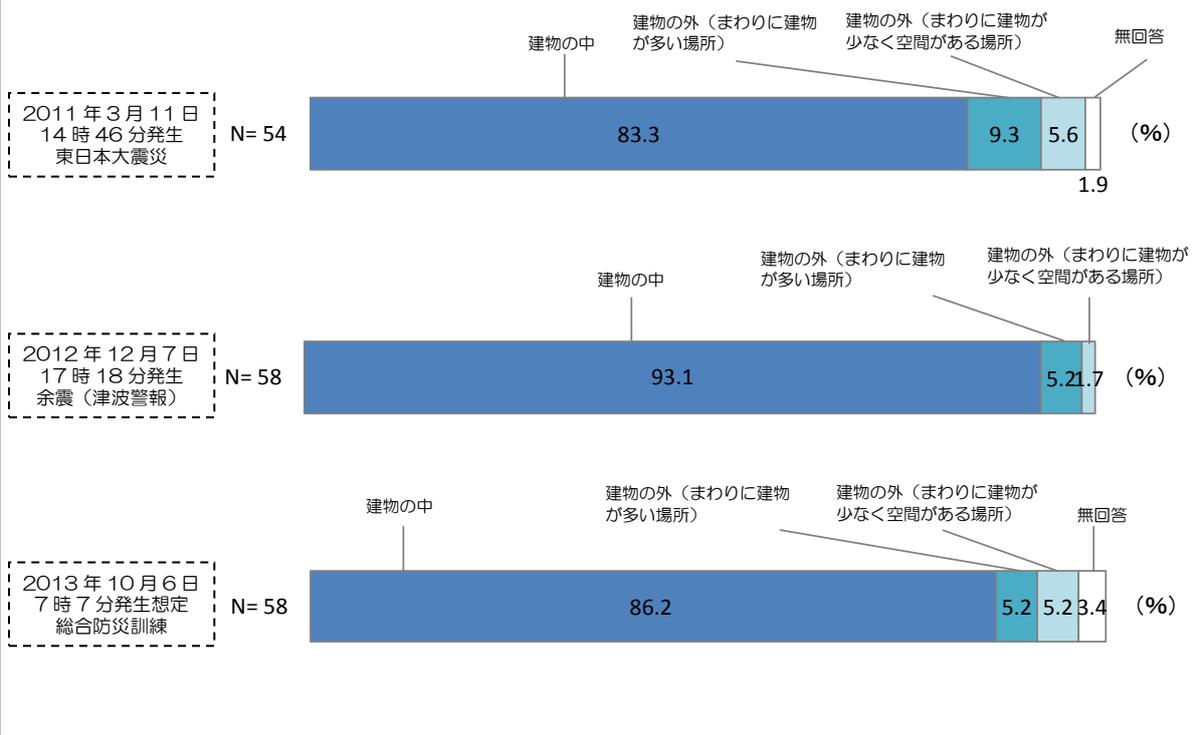


## (2)場所

各調査時点に「建物の中」にいた人が8割以上  
2012年12月7日が93.1%と最も高い

問8 東日本大震災発生ときに、  
問12 余震発生ときに、  
問2 総合防災訓練における、

あなたがいた場所は、どのようなところですか。  
(○は1つ)

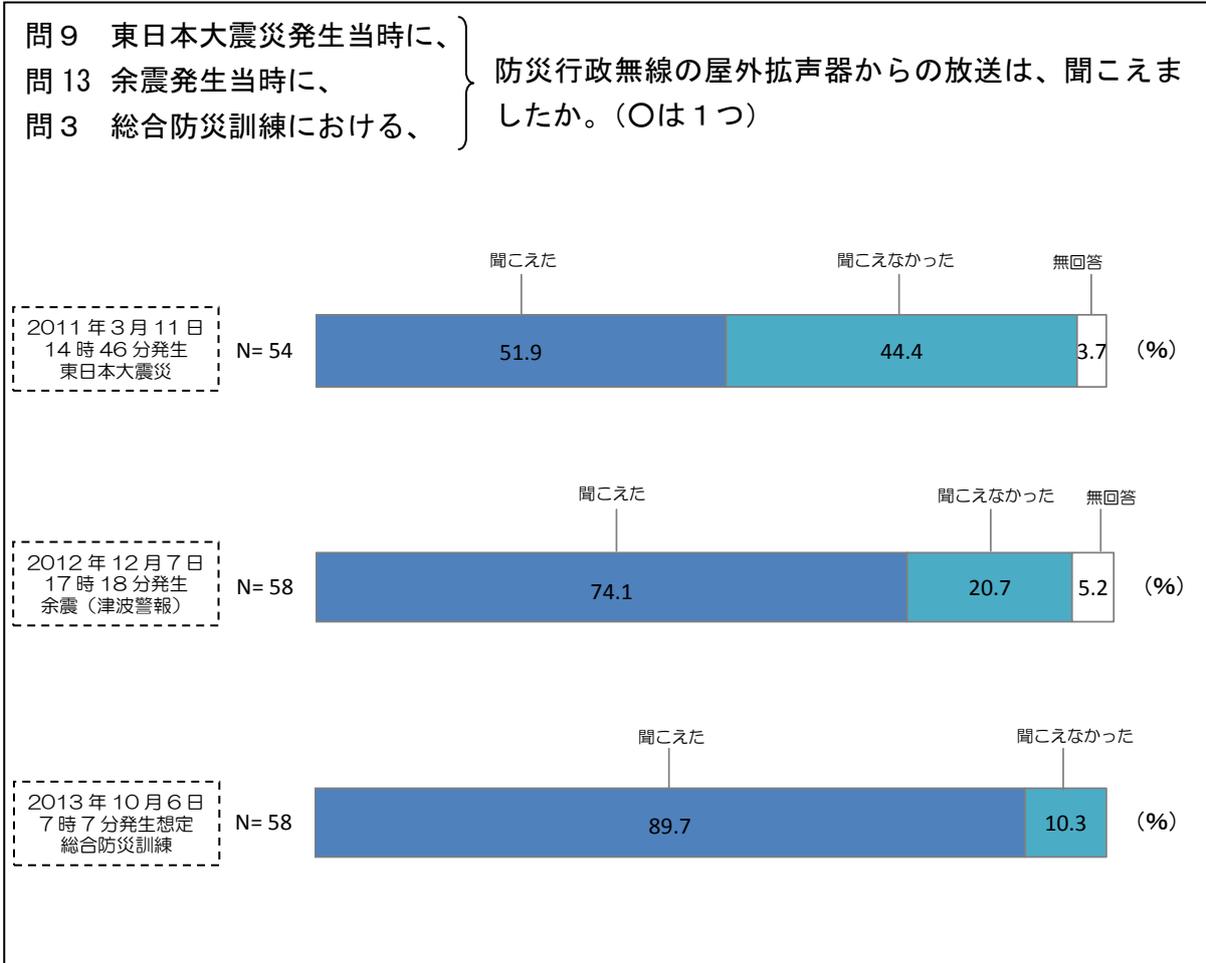


3 時点それぞれに回答用の地図の範囲にいた人に対して、どのような場所にいたか、をたずねたところ、いずれも「建物の中」が8割以上と最も多い。

その比率は、①2011年3月11日の東日本大震災発生時が83.3%、②2012年12月7日の余震発生時が93.1%と3時点で最も多く、③2013年10月6日の総合防災訓練実施時が86.2%となっている。

## 2. 放送聴取の可否

防災行政無線が「聞こえた」との回答が「聞こえなかった」を上回る  
3時点の「聞こえた」比率には差が大きい

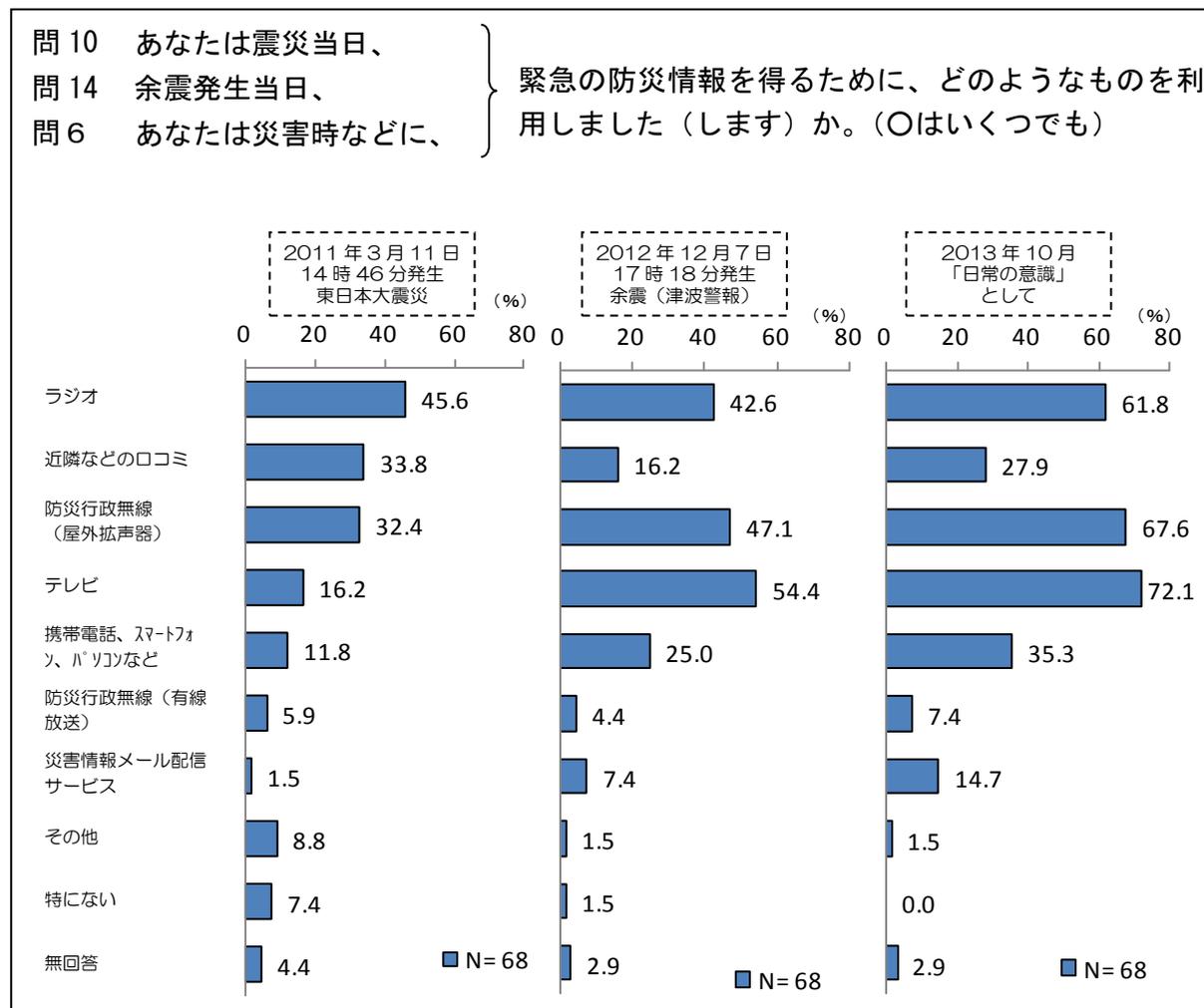


3 時点それぞれに回答用の地図の範囲にいた人に対して、防災行政無線の屋外拡声器からの放送が聞こえたかどうかをたずねたところ、いずれも「聞こえた」が「聞こえなかった」を上回っている。ただし3時点の聴取可否の程度には差がある。

「聞こえた」と回答した比率は、①2011年3月11日の東日本大震災発生時が51.9%、②2012年12月7日の余震発生時が74.1%、③2013年10月6日の総合防災訓練実施時が89.7%となっており、最も少ない東日本大震災発生時では、聴取の可否はほぼ二分に近い状況であり、最も多い総合防災訓練の際には、約9割が「聞こえた」と回答している。

### 3. 情報入手先

2013年10月現在が日常の住民意識と読み取れ、「テレビ」(72.1%)、「防災行政無線」(67.6%)、「ラジオ」(61.8%)それぞれが高い



緊急時の情報源について、①2011年3月11日の東日本大震災発生当時の行動、②2012年12月7日の余震発生当時の行動、③2013年10月6日の総合防災訓練実施時点の日常の意識として、それぞれたずねた。

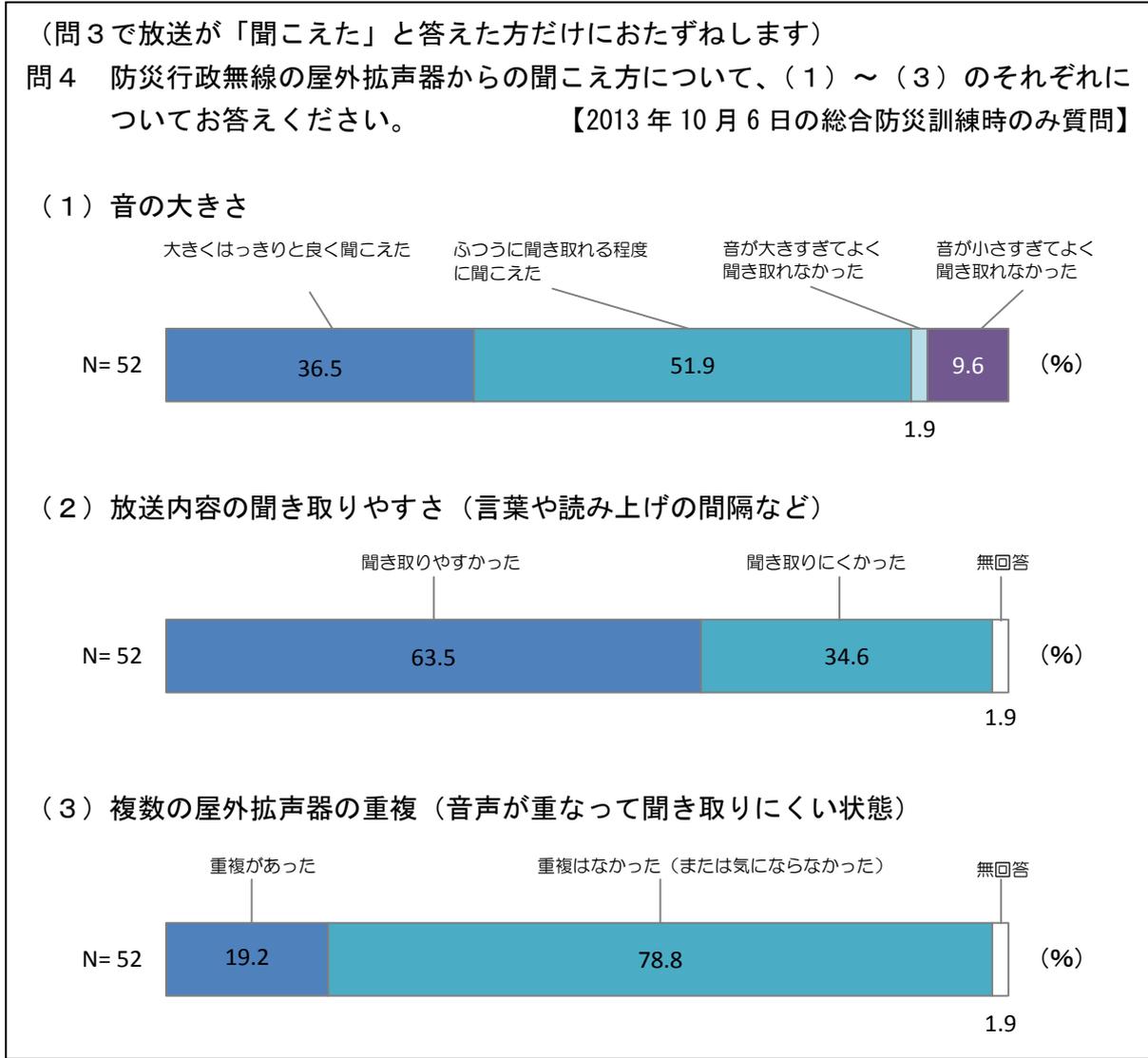
上図は、左側の東日本大震災発生当時の回答比率の上位順に選択肢を並べている。

①震災時は発災直後からの停電によりテレビによる情報収集が困難になったという特徴から、「ラジオ」(45.6%)が1位、「近隣などの口コミ」(33.8%)が2位となっている。

②余震時、③防災訓練時の回答傾向は、②の傾向がそのまま③でさらに強調されていると考えられ、日常、災害時の情報源として認知している上位3項目が「テレビ」、「防災行政無線」、「ラジオ」であることがわかる。

#### 4. 防災訓練時の聞こえ方評価(音の大きさ、聞こえやすさ、手段)

①音の大きさが問題あり=11.5%、②聞き取りにくい=34.6%  
③拡声器どうしの重複があった=19.2%



2013年10月6日の総合防災訓練時の放送において防災行政無線が聞こえたと回答した人に、その聞こえ方について3点たずねた。

①音の大きさについては、「ふつうに聞き取れる程度に聞こえた」人が51.9%と最も多く、「音が小さすぎて(大きすぎて)よく聞き取れなかった」との回答は合わせて11.5%であった。

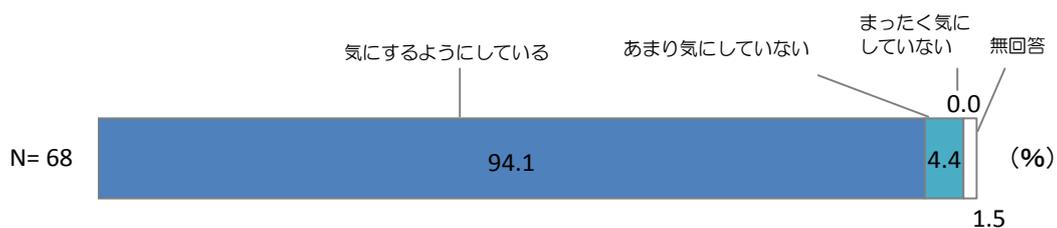
②放送内容の聞き取りやすさについては、「聞き取りやすかった」人が63.5%である一方、「聞き取りにくかった」との回答も34.6%あった。

③複数の屋外拡声器の重複については、「重複はなかった(または気にならなかった)」との回答が78.8%と多く、「重複があった」と回答した人は19.2%だった。

## 5. 日頃の防災行政無線への意識

防災行政無線の放送を「気にするようにしている」人は9割以上

問5 あなたは、ふだん防災行政無線が放送されたときには、意識的に気にするようにしていますか。(〇は1つ)



日頃の防災行政無線に対する意識をたずねたところ、「気にするようにしている」との回答が94.1%占めた。

## 6. 防災行政無線が聞こえなかったケースの詳細

調査対象とした3時点のうち1回でも「聞こえなかった」と回答した人は30人であった。その都度、今回の調査範囲にいた人の基数は異なるが、3時点で平均的に本調査回答者の約8割の人が地図のエリアに居たことを勘案すると半数以上の住民が少なくとも1度は「聞こえなかった」経験を持っていることになる。

前述のとおり、「聞こえなかった」人は震災当日が最も多く、防災訓練当日が最も少ない。アンケートの回答からは、「建物を閉めきると聞こえない」、「平日は他の音（道路の車、来店客対応など）が多く聞こえない」等の指摘があることから、防災訓練当日は日曜の朝で聞こえやすく、予め計画され注意を向けていた放送であるため、より良く聞こえた、ということのようである。

防災行政無線の稼働時に回答者がいた場所についてプロットした図を次ページに示す。これを見る限りでは、近いエリア内で十分聞こえている人とそうでない人が混在しており、位置や方角による問題点は明らかにできない。

本市に限らず、防災行政無線には聞こえ方（音量、輻輳など）や伝え方（話し方、内容など）で受け手の要望自体が多様で、全体最適を図ることが難しいため、発信側の改善はもちろんのことだが、受け手の意識や工夫も大切であると考えられる。

### 【防災行政無線作動3時点の「聞こえなかった」回答のまとめ】

No.	(問9)	(問13)	(問3)	意見要旨	
	2011.3.11 震災	2012.12.7 余震	2013.10.6 防災訓練		
1	×			話し方	・ゆっくり過ぎて待てない
2	×			屋内	・閉めきっていると聞こえない
3	×				
4	×			改善	・震災当時と比べ改良された
5	×				
6	×				
7	×			屋内	・窓を開けて聞き取る
8	×			輻輳	・拡声器の音がハモる
9	×			輻輳	・通行車両の音などが重なる
10	×				
11	×				
12	×			屋内	・閉めきっていると聞こえない
13	×			屋内	・はっきり聞こえない
14	×			話し方	・もう少しゆっくり話してほしい
15	×				
16	×				
17		×			
18		×			
19		×			
20		×			
21			×	輻輳	・音声为重なり意味がわからない
22	×	×		輻輳	・向かい合う方角の拡声器を塞げば？
23	×	×		輻輳	・日曜日は街が静かだから聞こえる 平日は雑音がありそうはいかない
24	×	×		使い方	・サイレンなら良く聞こえる 音色で意味を分けてはどうか
25	×	×			
26	×		×		
27		×	×		
28	×	×	×		
29	×	×	×		
30	×	×	×		

× = 防災行政無線が「聞こえなかった」との回答

【防災行政無線作動時にいた場所の分布】



- 凡 例
- 00 「聞こえなかった」が1回でも回答された箇所
  - 「聞こえなかった」の回答がなかった箇所
  - 「防災行政無線の拡声器がある場所」

※丸数字は、前ページ資料と対応。

4 26 28 30 は、いた場所  
が不明（無回答）

（※注：手書きの回答から拾い上げた略図であり、位置は正確なものではない）

## 7. 自由意見

### (1)防災行政無線の屋外拡声器について

防災行政無線の屋外拡声器について	性別	年齢
(放送が) ゆっくりすぎて待ってられない。普通に話してほしい	男性	70 歳代
家を閉めきっている時は音量、内容とも不明。外に出て聞くようにしています	女性	60 歳代
音は聞こえるのですが、言葉が聞き取りにくいです	男性	50 歳代
向かい合う方角の拡声器をふさげばいいのでは。一方向に音を出す？	女性	50 歳代
拡声器のハード、ソフトが改善されているのかも知れませんが、その時々で聞こえ方が違います。ただ、ハウリングは以前に比べて無くなったようです	男性	50 歳代
10/6 日曜日は、町内が静かだったので聞こえた。平素は工作中、町内が動いている時はそうはいかない。雑音（がじゃまをする）	男性	70 歳代
避難当時と比べて大分改良のあとが見られる	男性	70 歳代
音声为重なり意味が判らない	男性	70 歳代
言葉の意味がわかる所まで話した方が聞きやすく、理解しやすいです	男性	60 歳代
問題なし	男性	60 歳代
一階と二階、居る場所によって聞きにくい	女性	60 歳代
もう少し具体的にゆっくり話してほしい	女性	60 歳代
ゆっくり、はっきりと云うのは判るのですが、言葉（フレーズ）と言葉の間隔が長すぎて、緊急の場合は「もっと早くその先伝えてよ！」という気持ちになります。間隔をあまり置かずその分同じ事をくり返し云って欲しいと思いました	女性	60 歳代
10 月 6 日のアナウンスは良く聞こえましたが、普通はよく聞こえませんでした	女性	80 歳以上
防災無線を通して伝わってくる内容は、窓を開けて聞きとる状況	女性	不明
羽黒山公園で聞いた時は、複数の拡声器の音がハモッてしまい聞き取りにくかった	男性	70 歳代
車が通った時など重なって聞きとりにくい	女性	40 歳代
風向きによって聞こえかたが異なる。出来ればアナウンスの人選を考えて放送してほしい。聞き取りにくい音声など、適した話し方ができる人にしてほしい	女性	80 歳以上
窓を開けなければ聞きとりにくく、内容が鮮明には聞こえません	女性	60 歳代
サイレンは良く聞こえます。数種類のサイレン音を使い分けることによって、どういう内容を把握できるようにならないでしょうか	男性	60 歳代
もっとはっきり聞こえればもっと良かった	男性	70 歳代
防災行政無線が活用されていないようにしか思えない	男性	60 歳代
コンクリートの中なので、中にいるとはっきりとは聞き取れない	女性	60 歳代
もう少しゆっくり話してください	女性	70 歳代
家の中にいて窓をしめていたので	不明	70 歳代
広範囲に聞こえるようにする為、ある程度聞き取りにくい等の苦情が出るのはしかたないと思う。それでも高性能のスピーカーを使う等、努力はしてほしい	男性	40 歳代

## (2)自由意見

自由意見欄	性別	年齢
以前より防犯無線は聞こえにくくあまり気にとめていませんでした。ラジオや携帯は情報が速く、手元でわかるのでそちらの方に耳を傾けてしまいます。地域によっては防災庫などが充実し、備品も蓄えていて安心な所とそうでない所があり、全部の地域にいきわたるよう、声かけしていかなければならないでしょう	女性	60 歳代
防災無線が聞き取りにくく、情報がすぐに得られないことがあります。出来れば、各戸にスピーカーなりがあればと、思っています	女性	40 歳代
防災無線の聞こえ方については、内容は詳細にわからなくても”重要なようだ”とは認識でき、その後、その他の手段で確認します。報じる内容について耳をそば立てている間に、避難準備をしたほうがよろしいと思います	男性	70 歳代
地域の防災マップの作成。地域内の伝達の徹底。組織等々	男性	70 歳代
防災無線は非常に聞き取りにくいです。（スピーカーから、時間差でいろんな場所から聞こえる）こもって聞こえたりもします。例えば東松島市のように家庭に1台でも、行政無線があればよいのですが、不可能なら、地域（商店街に何台…とか）を代表される家庭や仕事場に設置し、「声かけ」をしていくのがよいかもしれません。地域コミュニティの連携をはかるためにもよいのではないのでしょうか	男性	40 歳代
震災のタイプによって、避難する行動はちがって来ると思う。かえって外に出ると二次災害にあってしまう場合もあるのでは…。震災当日はお客さんと従業員さんを助け出すのに夢中で、防災無線が聞こえたのは津波の直前でした。幸いにも自宅二階に無事に逃げられました。無線を聞いた時には「大津波」って何？とってしまいました。海沿いなので、津波というのは常に頭にありましたが、現実に理解していなかったと実感しました。無線の言葉はもう少し早くても良いのではと思います。「えっ何？」と聞いている時間ももったいない。「大津波だ、高台に逃げろ！」でよいかと	女性	60 歳代
H23.3.11の地震の後は防災行政無線（屋外拡声器）に耳を傾けておりました。放送が普段の音程。淡々としたアナウンスだったので「津波」と聞こえても危機感はなかった。海岸地帯でもないし、チリ地震津波、宮城県沖地震等を経験しても自分のところは大丈夫だろう…津波が北上川をのぼってきて、たいしたことにはならないだろうと勝手に思っていました。「大津波」とは聞こえましたが、何mが「大津波」なのか…大変なことが起こっているとは思いませんでした。出来れば、アナウンスも必死な呼びかけにしていれば幸いです。「今まで経験したことない大津波（?m）が石巻全体に追っています…etc.」	女性	60 歳代
震災当時、防災無線は聞こえていたように思いますが、内容まではっきりとは記憶にありません。それくらい動転していたように思えますが、津波の大きさ等全く、想像してなくて危機感もありませんでした。3.11をふまえて今後は情報を未永く伝えてゆくことが大切だと思います	女性	60 歳代
車で移動中に複数の防災無線放送が干渉して聞きづらいことがある。複数のスピーカー同志で位相制御を行って音波の干渉を少なくしてほしい	男性	70 歳代
避難までの距離3K。そこまで行くのが大変。いざというとき、近隣で避難できる3階以上のビルの設置を要望します	男性	70 歳代

自由意見欄	性別	年齢
私は中央に住んでいます。災害時の安全・安心についてお願いしたい事です。大雨の時、満潮の時に町がまだまだ、冠水してしまいます。市役所か行政の方でポンプをもう少し多く設置してほしいです。そして、冠水した時はいち早く通行止めをお願いしたいです。車が走ると歩道をこえて水が家に入ってきます	女性	50 歳代
10月6日の訓練の時、無線は良く聞こえましたが、季節などにより戸を締め切っていたりすると、以前は戸を開けて、外（庭）に出て聞いていました。各方面に秒差をつけて流していると思いますが、今回は注意していた分とくに聞こえました	女性	60 歳代
町内毎の情報など、細かい連携も必要と思う	男性	70 歳代
きちんと聞こえるようにしてほしい	女性	40 歳代
自分の身は自分ですばやく守る。今回の津波に（対して安全を）過信しておりました。強い地震には必ず「津波」と考えて、建物のしっかりした高い所への避難場所を常日頃見て調べておくこと	女性	60 歳代
現在街は近隣に家が少なく住民は町内に5家族だけで夜の場合は飲食の商売だけで交流はなく、災害時に一番始めに頼るのは行政無線の屋外拡声器なので、いち早く情報を流してください。更に言えば一度きりの放送でなく、細かく時間差で流してもらえれば家の中でも安心しておる事が出来ます	女性	80 歳以上
3.11より大きな地震が起きたら防災の拡声器等役に立つのか？市役所はそういう時、機能してないのでは。最近では冬だけでなく夏も窓を閉め切ってるのもっと頻繁にテストしてほしい。日和山に防災のための課を独立して設けてはいかが？地盤硬いし	男性	60 歳代
行政無線の音声機能をもっと聞きやすいものにして欲しい	男性	60 歳代
千石町昭和マンションは堅い地盤の上に建っており、また耐震構造で保護されていたので、食器類はこわれましたが建物にヒビは入らなかった。1Fは津波で水が上ったけれど2F以上は危険にならなかった。近くの大きな建物は（ビル）も大丈夫であった、津波は近所は畳の上まで来たようです	女性	80 歳以上
私共の町内の避難場所は永願寺、第2として石巻小学校となっております。一度（24年12/7）永願寺に行きましたが、とに角、寒く一石巻小学校よりも近いので、とても楽ですが、できれば時黒山神社内に入れてもらえるように、地域全体としてまた、市よりの要請として避難所の扱いをお願いしたいと思います	女性	60 歳代
停電時でも使用可能でかつ視覚に訴える伝達方法を考えて欲しい。地域の安全でいえば、指定の避難所が一番近くで約1kmもあり、遠過ぎます	男性	60 歳代
防災無線は全くとよいほど、役にたたない	男性	60 歳代
4階に住んでおり、回りがどんどん建物がなくなって行くので、あまりお話しする人達もないし、急な病気をした時はどうしようか、心配です。子供たちは県外におり、たまにしか来ないので、町内会等には出かけるようにしようかなと思っていますが、4階の上り下りが大変であり外に出ないです	女性	70 歳代
防災無線の屋外拡声器からの声が聞き取りにくい	女性	60 歳代
城内仮設団地では拡声器からの声がコダマして、言っている内容が聞き取れない	男性	50 歳代

## 1. 使用した調査票(見本)

## 防災行政無線の聞こえ方に関するアンケート

秋冷の候、地域の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、「コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会」では、**来る10月6日(日)に行われる「石巻市総合防災訓練」**において、表題のとおり、防災行政無線の屋外拡声器の聞こえ方について、中心市街地におけるアンケートを行うことといたしました。

このアンケートは、今後の街なか復興において、地域の安全・安心を重視したまちづくりを進めていくための貴重な資料といたします。

**配布されたアンケートは、10月6日(日)の「石巻市総合防災訓練」での防災行政無線の聞こえ方を確認の上、ご回答ください。**回答が済んだ記入済みのアンケート用紙は、記入もれがないか確認の上、同封の返信用封筒に入れて**10月18日(金)までにポストに投函してください。**

アンケートにお答えくださった内容は、統計的に処理した結果として活用します。個人のお名前や考えがそのまま公表されることは一切ありません。また、得られた情報は、上記の趣旨に基づいた活用以外に利用することはございません。安心してご回答ください。

ご多忙の折、誠に申し訳ありませんが、調査の趣旨等をご理解の上、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## - 記入の仕方 -

1. 質問文をよく読み、あてはまる選択肢に○をつけてください。
2. 回答が「その他」にあてはまる場合は( )に具体的に記述してください。
3. あてはまる場所を地図に記号(丸数字)で記入して頂く質問があります。
4. 自由に記述する形式の設問では、具体的に内容やご意見をお書きください。

調査主体 コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会  
〒986-0822  
宮城県石巻市中央二丁目8-2 ホシノボックスピア 2F まちカフェ  
事務局 TEL 0225-25-5169 FAX 0225-25-5179

■はじめに、10月6日(日)の「石巻市総合防災訓練」における、防災行政無線の聞こえ方などについて、おたずねします。

問1 防災訓練の時間帯に、あなたは次のページに示す地図の範囲の地域にいましたか。(○は1つ)

- |                |   |  |
|----------------|---|--|
| 1 いた           | → | ( 次のページの地図上で、あなたがいた場所に<br>①と記入してください ) |
| 2 いなかった (→問5へ) |   |  |

**位置記入用地図**

※できれば赤などの色インクのペンで記入するか、黒ペンの場合なるべくはっきりと記入してください。

問 1 の回答（総合防災訓練時にいた場所）は…①と記入してください

問 7 の回答（東日本大震災時にいた場所）は…②と記入してください

問 11 の回答（H24.12.7 余震時にいた場所）は…③と記入してください



問 2 あなたがいた場所は、どのようなところですか。（○は1つ）

- 1 建物の中
- 2 建物の外（まわりに建物が多い場所）
- 3 建物の外（まわりに建物が少なく空間がある場所）

問 3 総合防災訓練における、防災行政無線の屋外拡声器からの放送は、聞こえましたか。（○は1つ）

- 1 聞こえた
- 2 聞こえなかった（→問 5へ）



問6 あなたは、災害時などに緊急の防災情報を得るために、どのようなものを利用しますか。

(〇はいくつでも)

1 防災行政無線（屋外拡声器）	6 携帯電話、スマートフォン、パソコンなど
2 防災行政無線（有線放送）	(通話の他、ツイッターやSNSを含む)
3 災害情報メール配信サービス	7 近隣などの口コミ
4 テレビ	8 その他 ( )
5 ラジオ	9 特にない

■つぎに、平成23年3月11日（金）14時46分の「東日本大震災」発災当時の、防災行政無線の聞こえ方などについて、おたずねします。

問7 東日本大震災の発災時に、あなたは2ページに示した地図の範囲の地域にいましたか。

(〇は1つ)

1 いた	→	〔 2ページの地図上で、あなたがいた場所に ②と記入してください 〕
2 いなかった (→問10へ)		

問8 東日本大震災の発災時に、あなたがいた場所は、どのようなところですか。(〇は1つ)

1 建物の中
2 建物の外 (まわりに建物が多い場所)
3 建物の外 (まわりに建物が少なく空間がある場所)

問9 東日本大震災の発災時に、防災行政無線の屋外拡声器からの放送は、聞こえましたか。

(〇は1つ)

1 聞こえた	2 聞こえなかった
--------	-----------

問10 あなたは震災当日、緊急の防災情報を得るために、どのようなものを利用しましたか。

(〇はいくつでも)

1 防災行政無線（屋外拡声器）	6 携帯電話、スマートフォン、パソコンなど
2 防災行政無線（有線放送）	(通話の他、ツイッターやSNSを含む)
3 災害情報メール配信サービス	7 近隣などの口コミ
4 テレビ	8 その他 ( )
5 ラジオ	9 特にない



F 2 年齢 (○は1つ)

1 20歳未満	5 50歳代
2 20歳代	6 60歳代
3 30歳代	7 70歳代
4 40歳代	8 80歳以上

F 3 職業 (○は主なものを1つ)

1 農林漁業 (家族従業者を含む)	6 学生
2 商工自営 (家族従業者を含む)	7 家事専業
3 会社員・公務員・団体職員	8 無職
4 会社・団体などの役員	9 その他
5 パート・アルバイトなど	( )

■災害や防災に関する情報やその伝達についてご意見などがあれば、ご自由にお書きください。また、地域の防災 (安全・安心) についてのご意見もあれば是非、お書き添えください。

質問は以上です。

ご多忙の折、ご協力を頂き誠にありがとうございました。